

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 227



*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 戦中の代用品について調べたい。

答) **図書** → **ことばから探す** → **代用品** と入力して検索 ⇒ 168件ヒット

雑誌 → **ことばから探す** → **代用品** と入力して検索 ⇒ 180件ヒット

件数が多い場合は分類で絞り込むと、内容を限定して検索できます。

検索結果から、代用品が作られた経緯やどんな品目・種類があるかを知りたい場合は、

[絞り込み検索] ⇒ [分類で絞り込む] ⇒ [200:歴史で探す] ⇒ **図書 58件ヒット**
⇒ **雑誌 5件ヒット**

例えば

- ◇ 『写真でみる 太平洋戦争とくらし・道具事典』(210.75/W37/1) 閉架児童書
- ◇ 『昭和ことば史60年』(210.7/I52) 閉架一般
- ◇ 『戦時中の日本 そのとき日本人はどのように暮らしていたのか?』(210.75/R25) 閉架一般
- ◇ 『木炭バスの走ったところ 名古屋市博物館特別展 代用品にみる戦中・戦後の暮らし』(210.7/N27) 閉架一般
- ◇ 『丸 第67巻第1号—第4号』(209/Ma54/67-1) 閉架雑誌 (※第67巻第2号に掲載) がヒットします。

代用品に関する国策の解説や雑誌の記事を知りたい場合は、

[絞り込み検索] ⇒ [分類で絞り込む] ⇒ [300:社会科学で探す] ⇒ **図書 49件ヒット**
⇒ **雑誌 21件ヒット**

その中には

- ◇ 『戦時経済国策大系 第1巻』(333/Se66/1) 閉架一般
- ◇ 『戦時経済の実際問題』(333/To46) 閉架一般
- ◇ 『常会 第3巻第12号(昭和16年12月)』(318/J67/3-12) 閉架雑誌
- ◇ 『市政週報 第142号—166号(昭和17年1月～6月)』(318/Sh89/142) 地下書庫和雑誌などがヒットします。

兵器になった信楽焼しがらき

10月から始まったNHK連続テレビ小説「スカーレット」では、陶芸家が主人公となっています。

ドラマの舞台である滋賀県の信楽は、土器づくりに適した粘土層がひろがっており、古くから焼きものの生産が盛んな地域でした。平安時代末期(11世紀頃)にはすでに焼きものづくりがおこなわれていたとされています。室町時代(12世紀～15世紀)に侘茶わびぢやが流行すると、赤茶けた、きめの粗い風合いをもつ信楽焼の茶器が好まれるようになりました。現代でも信楽焼は日本を代表する焼きものとして知られ、長い歴史をもつ焼きものの産地を総称する「日本六古窯ろっこよう」のひとつとして、信楽焼も挙げられています*。

昭和18年(1943)、徐々に戦況が激化してくると本土戦に備えて兵器の増産がおこなわれるようになりました。しかし物資が足りず、兵器を作るための金属も足りません。そのような状況のなかで、陶器組合の専務理事を務めていた加藤貞蔵(故人)は陶器づくりを残すために、金属の代用として陶器製の地雷を考案しました。軍から正式に注文を受けるようになると、地域の窯元たちで「信楽統制武器振興会」を結成、陶器製の地雷を生産しました。翌19年には、軍からの注文で、手榴弾も作るようになります。

物資だけではなく、人手も足りないため、女学生や国民学校の生徒たちも兵器の生産に動員されました。昭和19年9月、信楽国民学校高等科1年生だった近藤さんは、勤労働員で地雷づくりに携わりました。

地雷は上と下に分かれてまして、底は底、上は上で、両方合わせるんです。型でぐっと押さえて。工員さんたちがいてね、その人らの仕事を手伝いながら自分もつくる、仕上げをする。そんな作業をしていました。地雷をつくっていることも知ってました。

「信楽で地雷づくり」 近藤糾男さん 甲賀市(信楽町)
『語りつく記憶 戦時を生きた人びとの体験 滋賀県民戦争体験談集』

陶器製兵器が実際に使用されたかは明らかではありません。しかし、硫黄島や沖縄本島では、陶器製手榴弾が出土しています。また、全国各地の焼きものの産地や、埼玉県にある火薬工場の近くからも、未使用の陶器製手榴弾が見つかっています。

※ 残り5つは瀬戸焼(愛知県)、常滑焼とこなめ(愛知)、越前焼(福井)、丹波立杭焼たんばたちくい(兵庫)、備前焼びぜん(岡山)。

◎参考文献◎

『平和を考える戦争遺物 2』 210.7/H51/2 開架児童書

『もっと知りたい滋賀で学ぶ戦争の記録』 216.1/Sh27 閉架書庫

『地域の発展につくした日本の近代化遺産図鑑 3』 602/C43/3 閉架書庫

『立命館大学文学部学芸員課程研究報告 第12冊(2006年3月)』 069/R48/12
閉架書庫

『語りつく記憶 戦時を生きた人びとの体験 滋賀県民戦争体験談集』 916/Sh27 閉架書庫



ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 227

2019年10月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1